



# 市議会レポート

創刊号

三原市議会議員

# 正田 洋一

“未来を考える”  
“地域をもっと元気にする！”

発行者：正田洋一 三原市本町2-11-12 正田洋一事務所 TEL/FAX 0848-63-0085 発行責任者：正田洋一

kindness honesty truth fellowship future go ahead kindness honesty truth fellowship future go ahead kindness honesty truth fellowship future go ahead



三原市議会を市民の皆様にも身近に感じていただくために、私の目線でまとめた市議会レポートを発行し、お配りしております。今回は、選挙に当選させていただき、初の報告となります。創刊号では、6月初議会(平成25年第3回定例会)の様様について、私の思い・感想などを盛り込んだ内容でお届けいたします。

## 平成25年第2回 臨時会 報告

### ■ 議長の選任

5月9日に平成25年度第2回議会臨時会が開催され、議長には28名全員一致で分野達見議員が選出されました。この結果について、ご支援者の方々から「なぜ全員一致、対立候補はいなかったのか？」と質問をいただきました。

本会議場の場面しか三原テレビでは放送されませんでした。公職選挙法上、議長・副議長選挙は、立候補制ではなく、党首選挙のような過半数を獲得するまでの決選投票ができませんので、委員会室で任意の議員による非公式の予備選を行い、本会議場で投票を行いました。理由は、昨年度の議会運営で、議長グループ・それ以外に分かれ議会が進まなかったという反省から、議長は過半数以上の承認により誕生させることが望ましいとの判断があったからです。しかし、予備選には3人以上の方が出馬されると想定されていたのですが、2名の立候補となり、1名が辞退となりましたので、信任投票となりました。私は分野達見議員に投票という行動をとりました。

### ■ 副議長の選任

副議長には荒井静彦議員が選出されました。方法は議長選挙と同じく予備選から本会議場で投票という形式で行われました。これには荒井静彦議員、岡本純祥議員、寺田元子議員が立候補され、委員会室で立候補の演説を経て、本会議場での投票を行い、荒井静彦議員が選出されました。私は岡本純祥議員に投票という行動をとりました。

なお、議長・副議長選挙で行われた予備選について、補足しますと本会議場で行われる議長・副議長選挙では立候補制ではなく、立候補者に投票しなくてはならないというルールもありません。すなわち立候補されていない方への投票も可能です。例えば、自分に投票すれば私にも1票が入ります。

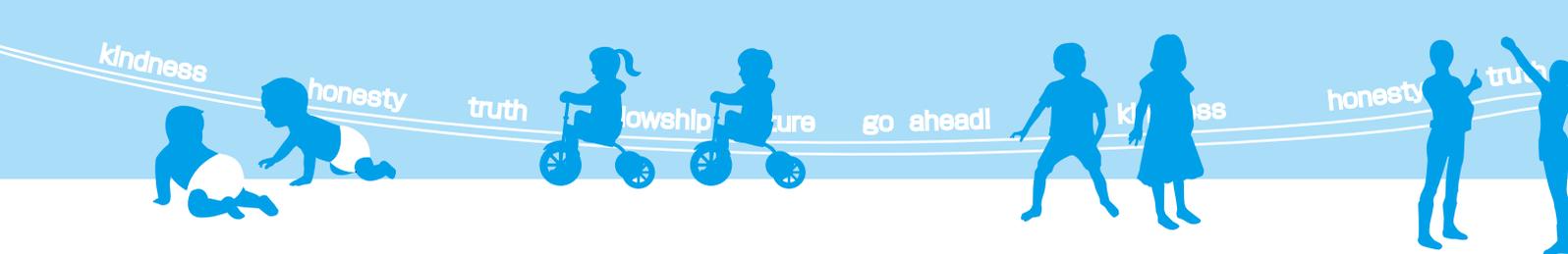
### ■ 所属委員会

私の所属の委員会は「総務財務委員会」、「議会広報特別委員会」に決まりました。これは、会派の先輩議員が、新人議員の私にご配慮いただき、希望する委員会を選択させていただきました。総務財務委員会では、財務の側面から戦略的投資から行政改革によるコスト削減まで、しっかり分析をして、意見を述べていきたいと思ひます。また、議会広報特別委員会では、議会の状況をわかりやすく市民の皆様にお知らせするための提案をしていきたいと思ひます。特にネットメディアを活用したコミュニケーションについて提案していきたいと思ひます。

### ■ その他

副市長に池本勝彦氏(もう一人の副市長については、提案を取り下げ)が提案され承認されました。また、市議会の発行する議会だよりが8月1日に発行されます。こちらもぜひともご覧ください。





一般質問について以下の3点について質問をさせていただきました。最初の定例議会ですので市長に対し、財政状況の理解と市政運営方針について伺いました。

### ■ 財政健全化の定義と目指すべき姿

**質問** 市長の考える財政健全化の定義について伺いました。市長が選挙期間中に言われていた財政破綻状態の真意についておよび市債残高600億円超をどのように評価しているのか伺いました。また、財政健全化のための行政組織民営化の検討状況についても伺いました。

**回答** ・財政健全化定義については、目安として実質公債費比率が現在10.4%であるが、これを25%超えないようにする。

- ・厳しい財政運営の中、行政サービスは無限ではないことから選択と集中を行う。
- ・行政組織の民営化については、市の保有する財産を精査してこれから検討する。

すなわち、選挙で言われていたこととは違い、三原は財政破綻状態ではない。市債残高の評価については言及はありませんでした。また、今後は、市民の皆様「に財政政策に対する数値目標をたてて提示すること」、「広報などを通じてわかりやすく周知を行うこと」についても検討すると回答をいただきました。ただ、全体としては、漠然とした回答が多かったという印象です。私の切り込みが足りなかったのも事実で次回以降の課題です。

### ■ 市長の言われる民間目線とは

**質問** 市長は市政に民間目線を取り入れると言われている。これには私も賛同しているのですが、具体的に民間目線とはどのようなことか？私の理解では、民間の目線を「経営感覚」と考えると、「成果の重視」、「戦略の重視」、「変化への対応」が重要で、達成可能な目標があり、それを達成するための戦略があるとお伝えしました。具体的には、三原の2035年ビジョンがあり、それを達成するための戦略があるということです。

**回答** 民間目線を取り入れるとは、市民ニーズが高度化、多様化していくなかで施策決定をしていくことで、その過程で市民目線を反映することである。この手法としてシンクタンクを設立がある。今年度から長期総合計画基本構想及び基本計画の策定に着手しているが、基本構想が長期ビジョンに当たり、市民と行政が共有できる今後のまちづくりの目標であり、ビジョンを具現化するのが基本計画であるとのことでした。

**質問** シンクタンクの立ち位置について伺いました。元々、シンクタンクは駅前の課題を中心にしたまちづくりの検討機関と言われていました。

**回答** 長期ビジョン策定、事業仕分けについて、検討する機関にする。

要望として、シンクタンクで未来ビジョンを策定するのはもちろん市民の皆様へわかりやすく提示することをお願いしました。また、シンクタンク議論の様子は一般公開で行われます。私も大変期待しております。

### ■ 事業仕分けの実施方法について

この質問は前日、力田議員が質問をされており、1点だけ要望をお伝えする目的で質問をしました。前日の一般質問で、実施概要は未定とのことでしたので人選に絞って伺いました。本来、この時点で実施概要が決まっていなくても問題はあるのと思いますが、一般質問で聞いても答えがでないので聞きませんでした。

**質問** 事業仕分けにおける人選についてどのように考えるか伺いました。

**回答** 人選において具体的には建築のスペシャリスト、行政運営を長年行われてきた方を候補にしている。

人選についてもあまり決まっていなかったので、要望として、事業仕分けの成否は人選にかかっているといても過言ではないことを伝え、利害関係者を加えないことは当然のこと、経済、経営、公共政策、マーケティング等、専門知識の持ち合わせる専門性の高い人材を投入いただきたいと要望して質問を終わりました。この質問の意図はあくまでも定義のはっきりしない有識者いわゆる仲間内人事ではなく、目的に合わせた本物のスペシャリストを選定していただきたいという思いからです。



総務財務委員会 報告

議論となった付託審査

■ 三原市職員の給与の臨時特例に関する条例制定

簡単にいうと職員の給与の値下げです。これは国家公務員の給与削減を受け、地方公務員である三原市職員の給与減額を実施する条例です。これについては、財政自主権の侵害であるという指摘があり、私もそのとおりだと思いますが、復興資金捻出のために国家公務員は給与削減しており、地方公務員もそれに歩調を合わせる措置であるため、可決となりました。

■ 三原市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例制定について

簡単にいうと支所長公募のための条例です。タイトルは難しいですが支所長を採用するための条例です。総務財務委員会では、支所長の役割、目的、効果、職務権限等が明示されてませんでしたので継続審査となりました。そのため、後日、総務財務委員会協議会が開催されました。

以下協議会での議論です。

支所長の役割

支所長の業務 (役割)	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所の運営</li> <li>地域の広報・公聴</li> <li>各種受付・相談</li> <li>地域振興に関する意見、情報集約、企画立案、調整</li> </ul>
目的	地域の声を聞き施策に反映する
効果	声の届かない隅々まで地域の声を収集できるので地域満足が向上する

意見まとめ

賛成意見	<p>各地域の疲弊の現実をみると足回りの強化はよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域審議会という組織があるがそれとの関係性の整理</li> <li>市議会議員の役割との関係性</li> <li>民間人材を入れるのはよいが支所長である必要があるのか</li> </ul>
再考もしくは反対意見	<p>→役所のラインに民間人材をいれるのでは本来の役所の仕事ができるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行財政改革に逆行した人件費、3年間で6000万円の費用対効果</li> <li>→目的が地域の声を聞くしかない。新設業務に見合う投資かどうか</li> <li>市政懇談会の開催等、地域の声を聞く手段の拡充</li> </ul>

私の意見を述べます。地域の声を聞くチャンネルの拡大、民間人材の投入は賛成です。

支所長への配置というのが、引っかかっています。民間人材を役所の仕事に時間を取らせることなく、専門性の高い人材に地域の声を聞く仕事に専念させ、役所業務は本来の体制で行う。そうすれば、フルタイムで人材を配置することなく、人件費も多く負担せずすむという考え方です。

また、支所長は、地域在住もしくは出身の人材、60代の定年退職者等を想定しているようですが、フルタイムで役所の仕事を覚えてからでは、投資に対する効果に見合わないと思います。再考いただきたいと考えています。まずは、内部の人材を生かし、その補完として民間人材を投入することが良いと思います。

この議論は8月以降再度議論されます。

9月議会の日程

月 日	時間	予 定
9月9日	10:00	本会会議開会
9月11日～13日 (13日予備日)	10:00	一般質問
9月17日～20日	10:00	常任委員会
9月24日	10:00	補正予算特別委員会
9月25日	10:00	決算特別委員会(企業会計)
9月27日	14:00	本会議閉会

議会を傍聴にお越し下さい!!

9月議会も9日から開会します。傍聴は開始30分前から議場に入れます。議会棟の2階で受付をしてお入り下さい。

一般質問をおすすめします。市政を問う質問が、議員から様々な角度で行われます。

正田洋一 Official Web Site

<http://shoda-yoichi.jp>

正田洋一 Official Web Site

Yoichi Shoda



地域をもっと元気にする！～戦略的に地域活性化を考える。

未来を考える政治

しょうだ よういち

正田洋一

トップページ プロフィール 私の政策 ブログ ご案内 後援会規約 後援会入会ご案内 お問い合わせ

ホームページでは、ブログで日々の議員活動内容の報告をしております。私の考え方、本音をありのままに語っております。また、皆様からのご意見を伺っております。先日、80代の方からブログを読んでいただいているとの連絡をいただき、議会に傍聴に行きたいと言っていただきました。大変励みになりました。ぜひともお読みください。



Facebookでは、議員活動以外に私の日常の生活の様子などを掲載しております。お気軽にお友達申請をしていただければと思います。また、恐縮ですがお友達申請の際にはメッセージを添えていただけると幸いです。

Facebook

<https://www.facebook.com/shoda401>

Twitter

<https://twitter.com/401shoda>



正田洋一事務所

お気軽にお問い合わせください。

〒723-0062 三原市本町 2-11-12

e-mail [info@shoda-yoichi.jp](mailto:info@shoda-yoichi.jp)

TEL/FAX 0848-63-0085

携帯 090-6001-0100



honesty

truth

fellowship

future

go ahead

kindness

honesty

truth